

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	島根県東部県民センター	氏名	石橋 唯
派遣先 団体名	NPO法人 ほっと大東		

① 研修の日時

7月27日(水)～7月29日(金)、8月1日(月)、8月2日(火)

研修時間はいずれの日も8:30～17:15

② 研修の内容

ちゃれんじクラブ(学童預り保育)

ほっと大東は介護保険事業を中心に様々な事業を行っていらっしゃいます。その中でも雲南市より委託(雲南市放課後児童健全育成事業)を受けている学童預り保育(ちゃれんじクラブ)にて研修をさせていただきました。

一日の流れ

学校のある日は14:00～18:30までですが、夏休み等は7:30～18:30までになります。

学童(小学1年生～6年生)は旧大東幼稚園、幼稚園児は大東幼稚園の一部を使用。

○7:30～9:00 来所、学習の時間

各自持参の宿題等静かに学習をします。

○9:00～10:00 朝の会、プール準備

学年ごとに出欠をとります。名前を呼ばれた児童は手を挙げ、元気に返事をしていました。

児童の合計人数を計算問題として出題します。

先生のお話を聞いた後、絵本の読み聞かせ。

朝の会を終えるとプールの準備体操としてラジオ体操を行います。

○10:00～12:00 プール(大東小学校)

休憩を挟みながらプール遊び。

幼稚園児、1・2年生は小プール、3～6年生は大プール(2年生も使う事もあります)。

職員の方は体調不良の児童がいないか、危険行為が無いかなどプールの中・プールサイドからそれぞれ見守ります。

○12:00～ 昼食

お弁当を仲良く戴きます。

○～14:00 DVD鑑賞等

冷房の効いた部屋で体を休めます。

DVD鑑賞や将棋、お昼寝等静かに過ごします。

職員の方は児童を見守りつつおやつ準備、掃き掃除をします。



○14:00～15:00 掃除・おやつ

体を休めた後、拭き掃除をします。

掃除が終わるとおやつを食べます。

おやつは野菜や果物中心で、漬物は児童に人気のようにでした。



○15:00～18:30 各自遊び

屋内・屋外でそれぞれ迎えを待ちながら遊びます。

屋内ではトランプ等のカード遊び、遊戯室でのドッジボールや積み木遊び等。屋外では近くにグラウンドがあるため、野球や鬼ごっこ等をして楽しみます。

職員の方はおやつのお皿の片づけ、屋内外でそれぞれ見守ります。

屋外遊びは17時頃まで。17時以降は幼稚園児も同じ場所で迎えを待ちます。

備考

7月28日(木) 大東高校から男子生徒3名、女子生徒2名がボランティアに来られました。

7月29日(金) 28日に続き大東高校から女子生徒2名がボランティアに来られました。

8月1日(月) 1年生は七夕交流のためデイサービス「ほっと」へ。ほっと大東所有のバスで向かいます。幼稚園児は「ゆけむりの里」へ。

「ほっと」では施設利用者の方々と一緒に笹へ七夕飾りを付けました。飾り付けをした後、自己紹介をし、体操と歌を披露。その後利用者の方々とおやつを食べました。

利用者の方々は児童たちとの交流を楽しんでいらっしゃいました。



③ 研修の感想

研修の初めに理事長さんのお話を聞かせていただきました。ボランティア団体として発足した当時の「地域のために」という思いを今も強くお持ちである事を感じました。今後の財源をどうするか、設立当初の思いを次の世代に伝えていくこと、若い指導員の確保が大事であるとおっしゃっていました。今回は通所介護等の事業を拝見する事はできませんでしたが、多くの利用者様がおられる事等から地域の方に必要とされていると感じました。また無事故で送迎を行っておられる事も安心して利用できる点であると思います。

預り保育では指導員全員が保育士免許又は教員免許をお持ちである事が印象的でした。また一つの学校のみではなく5校から児童が来られていることから、違う小学校の友達ができ、とても良い環境であると感じました。学校がある日は学年ごとに来所時間が異なるため、2度3度と送迎が必要になり、大変であるとおっしゃっていました。施設も広く、すぐ近くにグラウンド等もありのびのびと遊ぶ事の出来る環境でした。しかし、広さがあるために児童ひとりひとりに目を行き届かせる事が大変であると感じました。

小学校が長期休み期間中は大東高校からボランティアの参加があり、とても助かっているとおっしゃっていました。ボランティアに参加する生徒の人数も多く、高校生にとっても進路を考えるにあたり良い経験になるのではと思います。また、児童にとっても年齢の比較的近い高校生は接しやすいと感じました。

七夕交流やさつま芋掘り等でデイサービス等の施設との交流もあり、児童、施設利用者にとって楽しい時間が過ごせると感じました。

理事長さんや職員の方々のお話を伺いクラブを利用する児童人数が増える中、課題も多くなると感じました。待機児童、施設・若い職員の確保、障がいを持った児童の増加などの課題に、地域の方の気持ちに応えたい思いと現状では対応しきれない部分に悩んでおられるようでした。

NPO法人のみならず学童保育を行っている所では同じような課題があると思われれます。そういった課題に対応できるよう、現制度の周知や新しい制度が必要になってくるのではと感じました。

最後に、お忙しい中研修をさせていただき、貴重なお話も聞かせていただきました理事長さんをはじめとする職員の方々に厚く御礼申し上げます。